



はまなす季刊

医療法人はまなすHP ▶▶▶ <http://www.hamanasugeka.com>

医療法人 **はまなす** **篠路はまなすクリニック**

〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号
TEL (011)776-3030・FAX (011)776-3001

医療法人 **はまなす** **はまなす医院**

〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1
TEL (0133)64-6622・FAX (0133)64-6555



北海道新幹線と 医療サービス

理事長 工藤 岳秋

この3月に開業する北海道新幹線が連日、マスコミに取り上げられています。札幌まで延伸するのは15年ほど先ですが、北海道外への旅は主に空路、というこれまでの常識が変わり、移動手段を選択する楽しみが加わりそうです。

当初は利用客が殺到するものと思えます。ただ移動時間や運賃の面では航空機に比してやや不利とのことです。目新しさや速度だけでなく乗客本位のサービスでリピーターを確保できるかどうか、真価が問われるところです。

篠路はまなすクリニック新棟での外来・入院診療を開始してからまもなく1年が経過します。お馴染みと呼べるご近所の患者さんと思い浮かぶようになり、外科手術目的の受診も少しずつ増えてきました。

はまなす医院では工藤立史院長の専門である腎臓内科が浸透してきました。より安全な血液透析とアメニティの向上を目指して、今春透析室の拡充を中心とした増築に着手します。

医療法人はまなすは、建物のリニューアルとともに患者さん本位のフレキシブルな医療を追求して、北海道新幹線にも負けないような充実したサービスを心がけていきたいと考えています。

忘年会

2015年12月19日

センチュリーロイヤルホテルにて
「医療法人はまなす」の忘年会が行われました。

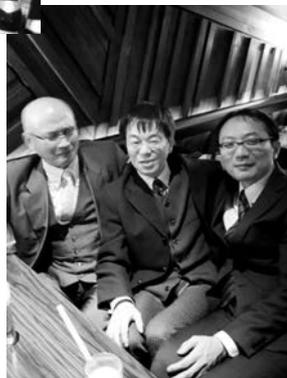


当日は、沢山の来賓の方々に御出席を賜り、約120名の参加となりました。

「永年勤続表彰」では、臨床工学技士杉本和昌さん(15年勤続)に花束贈呈がありました。

立史Drのピアノ伴奏に合わせ、歌とダンスもあり大盛況で幕を閉じました。

(坂本維子)



税理士・社労士の紹介



税理士法人折笠会計事務所

- (右) 佐藤 静恵
- (中央) 喜多 理夫
- (左) 里村 喜江

昭和43年3月に開業し平成20年3月に税理士法人に組織変更し開業48年目を迎えTKC全国会に加盟する事務所です。当事務所は、医療法人はまなすさんの会計業務をサポートし適正な税務申告をするのが主な業務です。特徴としては、顧問先の色々な問題に対応する為に、数か所の弁護士事務所と顧問契約を結び、司法書士事務所、事務所内の社会保険労務士、社外の社会保険労務士と不動産鑑定士と協力しワンストップで対応出来る様に体制を整えています。同時に中長期の経営計画の策定、達成度合いの検証を一緒に行い顧問先の長期の経営の安定に協力します。医療法人はまなすさんの担当は、医療、介護の会計を中心に担当する里村喜江さん、かに座生まれ、楽しみは土日にビールをたくさん楽しむ事。当事務所の会計システム、会計ソフトを取りまとめている佐藤静恵さん、てんびん座生まれ、楽しみは色々なワイン(最近)を試飲し、楽しむ事。当事務所の三代目の社会保険労務士の山田晃揚氏、ふたご座生まれ、趣味は日ハムの応援と、勝利のビールをたくさん頂く事。当事務所の管理、運営を担当している喜多理夫、おとめ座生まれ、趣味はゴルフの練習。他のスタッフ誰でも皆さんの相談の対応をいたします。



社会保険労務士
山田 晃揚

私は、昨年の9月より貴院の社会保険や雇用保険手続き、就業規則の改定などのお手伝いをさせて頂いております社会保険労務士の山田と申します。

趣味は、野球観戦でしてファイターズの応援に年間25回くらい札幌ドームに通っております。趣味が高じて、事務所の所在地が新道東駅近くにもかかわらず、真逆の豊平区福住に引っ越したほどです。野球観戦しておりますと選手達の野球への情熱とファンへの感謝の思いに感動させられることがしばしばございます。私も社会保険労務士業務を通して皆様感動を与えられるように仕事をしてまいりますので、今後とも宜しくお願いします。

篠路はまなすクリニック増改築

新築棟オープンからの10か月を振り返って

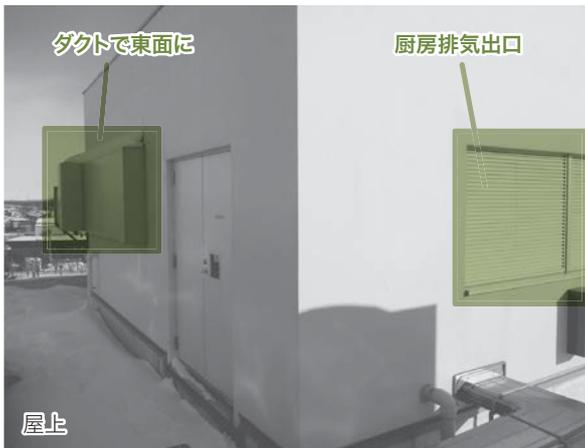


総務
高木 一哉

昨年、旭化成建材のくい打ちデータ改ざんが発覚するという事件がありました。篠路はまなすクリニックの新築棟は大丈夫であるのかと担当の設計士に確認したところくい打ち業者、データ、共に問題ないといことがわかりほっとしたのを覚えています。まあ、冷静に考えてみると当医療法人では、日本でも指折りの設計事務所にお任せしていることを鑑みるに問題などあるうはずもないわけなのですが…。

さて、早いもので篠路はまなすクリニックが大々的にリニューアルしてから10ヶ月が経過しました。この時点で一度これまでを振り返り、施設・設備の補修および改善点の中から不都合だった部分を3つほど紹介したいと思います。

一つめは、オープン間もない頃、厨房から発せられる調理臭が院内全体に広がってしまう問題が発生しました。院内に漂う匂いによってその日の献立が判明してしまう程で、食事制限をされている患者さんもいる中で申し訳ないことでした。原因としては屋上にある厨房の換気扇の吸・排気の部分に問題がありました。排気口からほど近く3〜4mほどの位置に換気設備の吸気口があつて、ここから調理場からの匂いが院内全体にバラまかれていたのです。設計士の言い分では設計上の問題はないうことでしたが、結果責任ということで改善策がとられました。具体的には吸気口からダクトを伸ばして排気を吸い込まない位置まで延長し、



いまでは全館が調理室の一部であることから免れています。



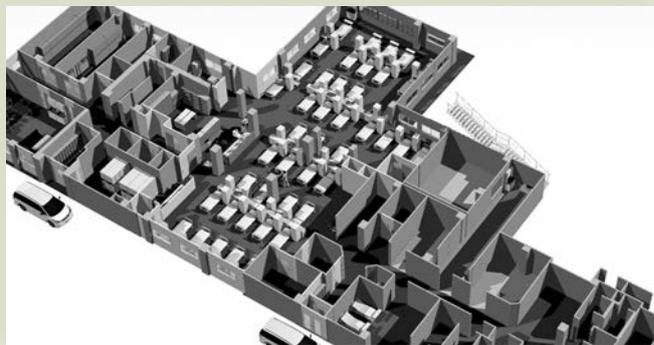
二つめは、水道の蛇口からお湯が出づらいう問題でした。9月に差し掛かるころ、入院病棟（3階）で、手洗いの際に冷たい水が出るばかりでなかなかお湯が出ないという事態が起きました。真冬であっても通常は、5〜10秒でお湯が出てくるところを時には10分もかかるというありさまでした。メンテナンスを担当する業者に問い合わせると、入院病棟の全域で温湯のメインパイプの循環が途切れているとのことでした。早々に配管内の圧力を調整するなどして正常化することができました。

三つめは、外来玄関部分のアップローチの傾斜でした。玄関から出てすぐの部分にフラットな箇所がなく、車いすの患者さんに危険性のある作りになっていました。この点に関しては、早くから問題点を指摘されていましたが、降雪を前にやっと改修が行われ、やれやれといったところです。



多種多様な問題点について設備係としては、設計事務所、施設業者などに助力を求めつつ速やかに対処することによってその任を果たしていきたいと考えています。これからも病院発展の礎となることを信じて微力ながら励んでいく所存です。

医療法人はまなす はまなす医院 増改築プロジェクト始動



地域の患者様のご支持の元、医療法人はまなすも今年で22年目となりました。新たな気持ちでスタートを切る平成28年です。

昨年は、篠路はまなすクリニックが透析サテライトから19床の病床を有し大きな外科手術にも対応出来るクリニックに拡張を遂げました。

はまなす医院も28年11月完成を目処に現在の石狩の約2倍の規模へと増改築を計画しております。透析ベッドを現在の24床から47床(個室含む)へ大幅に拡張致します。新たに男女ロスカー室や食堂等を1階に集約することで患者様の一層の利便をはかります。

今回は、1Fの透析室等をメインにグラフィックを掲載しましたが、次回号では、その他の1F設備の紹介と2F部分をご紹介します。

(事務次長 鈴木孝行)

厨房おすすめメニュー紹介

(管理栄養士 中山絵里奈)

- ビビンバ丼
- かぼちゃのんにく炒め
- フルーツ(缶詰の黄桃)



栄養価	
エネルギー	601kcal
タンパク質	18.1g
脂質	12.2g
炭水化物	100.7g
カリウム	691mg
リン	239mg
食塩	1.5g

今回人気メニューとして挙げさせていただくのは、ビビンバ丼、かぼちゃのんにく炒め、桃(缶詰)です。丼ものは普段、ご飯の量が多くて食べられないという患者様にも完食して頂けるメニューです。更にかぼちゃのんにく炒めにはんにくを使用しているため、食欲促進効果があります。少し食欲がないと感じる日にはんにくを使用した料理を作ってみるのはいかがでしょうか。ただし、メニューにあるかぼちゃにはカリウムが多く含まれているので食べる量には注意しましょう。今回使用したかぼちゃは一人当たり50gです。

材料

【ビビンバ丼】

豚ひき肉	40g	ほうれん草	30g
おろしにんにく	0.2g	にんじん	5g
豆板醤	0.1g	醤油	3.5g
砂糖	1.5g	豆板醤	0.1g
醤油	3g	うずらの卵	1個
もやし	30g	いりごま(白)	少々

【かぼちゃのんにく炒め】

かぼちゃ	50g	醤油	2g
おろしにんにく	2g	みりん	2g
油	2g		

【フルーツ】 黄桃缶 60g

作り方

【ビビンバ丼】

豚肉をAの調味料で炒める。もやし、ほうれん草は食べやすい大きさに切り、にんじんは千切りにする。

Bの調味料で炒める。この時、にんじんやほうれん草を下ゆでしておく炒める時間の短縮とカリウムの除去ができます。豚肉と野菜をご飯の上に乗せ、うずらの卵とごまをトッピングしたら完成。

【かぼちゃのんにく炒め】

かぼちゃを乱切りにし、下ゆでする。下ゆでしたかぼちゃを炒め、調味料を入れて混ぜて完成。

【フルーツ】

黄桃缶を適当な大きさに切り、60gお皿に盛りつけたら完成。

診療案内

◆ 篠路はまなすクリニック

診療時間	月・火・水・木・金曜日	午前	9:00~12:00
		午後	13:30~17:00
	土曜日	午前	9:00~12:00

透析	月・水・金曜日	(一部) 9:00~15:00 (二部) 15:30~21:00
	火・木・土曜日	9:00~15:00

医師予定表

		月	火	水	木	金	土
一般外来	午前				工藤(岳)		工藤(岳)
	受付 12時まで	工藤(岳)	工藤(岳)	工藤(謙)	第1,3,4 工藤(岳) ----- 第2,5 工藤(謙)	工藤(岳)	
	午後						休診
	受付 16時45分まで						
腎臓内科	午前 (予約制)		工藤(立) *手術時は午後休診			工藤(立) *手術時は午後休診	
	午後						

土曜日午後・日曜日・祝日は休診とさせていただきます

◆ はまなす医院

診療時間	月・火・水・木・金曜日	午前	9:30~12:00
		午後	13:30~17:00
	土曜日	午前	9:30~12:00

透析	月・水・金曜日	9:00~17:00
	火・木・土曜日	9:00~15:00
外来救急当番(外科)	日曜日を除く祝祭日	9:00~17:00

患者様へのお知らせ

毎週、月・水・木曜日は午前9:00~9:30 外科診療を行います。事前にご予約お願い致します。

医師予定表

診療科	月	火	水	木	金	土
内科						横尾(第1・3) 神山(第2・4)
外科・内科						
午前						休診
受付 12時まで	工藤(立)	工藤(謙)	工藤(立)	工藤(立)	工藤(謙)	
午後						
受付 16時45分まで						

火・金曜日に手術が入った場合、午後は外科から内科へ変更になることがあります。来院前にお電話で確認をお願いします。

透析室の臨床工学技士の仕事について

腎臓の機能が低下すると体内に溜まった毒素を排泄できなくなるため透析治療が行われます。そこで臨床工学技士は透析で使用する回路の組み立て、透析液の作成などに携わります。

透析開始時には患者様のシャント（血管）に穿刺を行い透析器と接続し、透析中は機械のチェック、患者様の血圧などを測定し安全性のチェックを行い、透析終了時には回路に残った血液を返血する作業をします。また透析液の水質は定期的に検査をし清浄化に努めております。透析の機械も定期的に点検を行っています。患者様のシャントに関しては状態を観察しトラブルが起きないようにシャント音等を確認しています。

医師、看護師と共に安全な透析を提供できるように患者様の個々の状態にあわせ検討し適切な治療が受けられるよう日々努力を続けております。

篠路透析室 紹介



技師
久留嶋 雄太



副師長
池上 由佳

当透析室は、透析専門施設として開院してから今年で10年を迎えます。透析ベッドも徐々に増え、現在は57床の透析ベッドを有しています。6月から新棟にも3床のスペースを確保して重症患者様の透析にも対応できるようになりました。月水金は2部制、火木土は1部制で総患者数は154名となり、札幌市内の様々な病院から多くの紹介や問い合わせがあります。

患者様の透析通院のための送迎サービスをしているのが当院の大きな特色のひとつで、現在は車椅子乗車やリフト付きで乗り降りがしやすい福祉車両を含め、6台がフル稼働しています。送迎範囲は近隣はもちろん、新琴似や東区の一部まで広範囲になっています。

透析患者様の高齢化に伴い需要が増えており、「送迎があるから」が当院を選択して頂いている大きなポイントとなっています。また、介護サービスを利用されている方も多く、病気だけではなく生活にも目を向け、地域包括センターや訪問看護ステーションと情報交換し、連携しながら通院透析が継続できるようにサポートすることも重要になっています。

4月から病棟が出来たことで、シャントのトラブルにも迅速に対応できるようになり、必要な検査や処置を慣れた場所で受けて頂けるようになりました。入院してもいつもの環境で透析が継続できるようになりサービス向上につながっていると思います。医師、看護師、CE、看護助手が、それぞれの立場で意見交換をしながら安全に安心して透析治療を受けて頂けるよう日々頑張っています。

・ 新人紹介及び厨房・清掃職員紹介 ・



総務

宮本 玲奈

12月より総務事務として篠路はまなすクリニックに入職致しました宮本玲奈です。趣味は読書と釣りで。釣りはまだまだ初心者で、分からない事だらけですが、海釣りも川釣りもそれぞれ違った面があり、とても楽しいです。

また、お花も好きなのでフラワーアレンジメントも好きです。患者様と直接接する機会は少ない仕事ですが笑顔を大切に何事も一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



厨房

高山 仁志

病院給食に携わるようになり、20年以上になります。

今までの知識と経験を活かし「美味しい!」と言われる食事を提供していきたいです。



総務

小羽 正実

9月より篠路はまなすクリニックに入職致しました。小羽正実です。

新しい環境にも少しづつ慣れてきました。日々学ぶことが沢山ありますが、周りの先輩に教わりながら頑張っています。

一日でも早く皆様のお役に立てるように頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



厨房

荻田真理子

昨年11月より篠路はまなすクリニック厨房職員として入職致しました、荻田真理子です。

患者様、職員様に喜んで頂ける食事を提供できるよう、日々努力し、頑張りたいと思います。

これからもよろしくお願ひ致します。



清掃職員

清野 和江

はまなす医院の清掃を1年程していましたが、この1月よりはまなす医院のパート職員として働く事になりました清野和江です。

趣味は音楽鑑賞で主に「嵐」の曲が好きで子供と一緒に聞いています。

清掃の仕事は経験が短いので先輩たちを見て、はまなす医院が常に綺麗であるよう心掛けて頑張りますので宜しくお願い致します。



厨房

高橋恵美子

11月より篠路はまなすクリニックの厨房に入職しました高橋恵美子です。

これからはもっと美味しい料理を作れるよう頑張っていきたいと思います。宜しくお願い致します。



清掃職員

小林美恵子

はまなす医院に派遣で3年間働いて、引き続き今年の1月より入職致しました。清掃の小林美恵子です。

四季折々の花を友人とドライブがてら見に行ったり庭で花を育てたりするのが、好きです。

患者様が気持ちよく来院される様、綺麗に掃除して行きたいと思っています。

今後どうぞ宜しくお願いします。



厨房

中山 敦子

昨年11月より厨房職員として篠路はまなすクリニックに入職致しました中山敦子です。

私は以前、看護助手の仕事をしていたのですが、機会があれば是非調理の仕事学びたいと思う気持ちが強くあり、思いきって看護助手を卒業し、転職しました。

悪戦苦闘の日々ですが皆様が食事をして笑顔になれるよう努力しますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



清掃職員

貝沼 静子

平成24年より、はまなす医院の清掃員として派遣されていましたが、今年の1月より正式にパート職員として、はまなす医院にお世話になる事になりました貝沼静子です。

趣味は山登りと読書です。今年は、八ヶ岳に登りたいと思っています。

清掃員として今後も頑張りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。



CKDとリハビリテーション

慢性腎臓病 (chronic kidney disease: CKD) の患者さんから、「運動はどの程度してもいいのでしょうか。安静の方がいいのでしょうか。」という質問をいただくことがあります。従来、運動により蛋白尿や腎機能が悪化するのではないかと懸念から、安静を基本とするスタイルがとられてきました。しかし最近になってCKDであっても適度な運動は腎機能に悪影響を及ぼさず、運動耐用量やQOLの向上、糖・脂質代謝の改善などのメリットをもたらす可能性がある

るといふ報告がなされ、運動制限をむやみに行うべきでないという風潮に変わってきました。

さらに近年になって、一歩進んで腎臓リハビリテーションという概念が提唱され、CKD患者さんに対して、運動療法、腎疾患教育、食事療法、精神ケアなどを含むリハビリが行われるようになりました。CKDの中でも透析患者さんについては、運動耐用量は心不全やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)のADLと同程度に低いとされ、適度な運動をしない場合



副理事長 はまなす医院院長

工藤 立史

の生命予後は不良であることが判明しています。これらのことを受けて、透析患者さんにも積極的な運動が推奨されるようになり、血液透析を実施中に、運動療法を行う方法なども開発されております。その効果は①最大酸素摂取量の増加、②心臓の収縮機能アップ、③栄養低下の改善、④貧血の改善、⑤透析効率の改善、など多岐にわたっています。

はまなす医院は2016年中に増築する予定であり、それに伴ってリハビリ施設を開設いたします。

篠路クリニックと合わせて200名もの透析患者さんが通院されており、その中にリハビリを要する患者さんが多数いらっしゃいます。また、保存期腎不全で通院中の患者さんの中にも同様のケースがあります。基礎疾患や合併症は様々であり、全員に適応があるわけではありませんが、必要に応じてリハビリを行うことで患者さんのQOLが向上し、生命予後の延長に役立ちたいと願っております。

この1年を振り返って

2015年 穏やかで温かく優しいと言われる年末も過ぎ去り、2016年の干支は丙申(ひのえさる)年です。

丙申の2つの漢字の意味は、丙は「明らか」という意味があり十干の中では申乙丙と3番目、樹木の成長に例え「形が明らかになってくる」年です。

前年の乙はまだまだ「芽吹き」の年

でした。

当「医療法人はまなす」にとっても、昨年3月末の篠路はまなすクリニックの増築棟完成、4月から法人本部移転、新棟での消化器外科の外来診療開始、篠路への病棟移設、石狩はまなす医院の新院長による腎臓内科診療の開始、等まさに「新生医療法人はまなす」の芽吹きの1年でした。

職員数も新棟増築前の粗倍である



医療法人はまなす

事務長理事 中辻 博

118名(28/1月末現在)に成り、診療実績も開院4ヶ月目の27年7月には当初目標の前年比20%増を一年前倒で達成。

28年3月決算予想も前年比23%増で着地の予定です。

ひとえに地域の皆様に支えられて、石狩・篠路地区で芽吹いた「はまなす」の花の芽吹きの1年でありました。

今年「形が明らか」になる年です。

昨年より工藤会長を中心に計画されていた旧本院、「石狩はまなす医院」の増築・改修工事を28年4月より開始し、29年3月には完成予定です。

平成6年3月個人医院で開花した「はまなす」は23年経過した平成29年には石狩と札幌北地区にシッカリ根を張り地域医療に、より前向きに貢献できると確信します。

エキゾチズム

世界で初めての心臓移植手術は、南アフリカ共和国の首都ケープタウンでクリスチャン・バーナードによって行われた。1967年12月3日のことである。マスコミは騒然となり、新聞の一面には、紙面幅いっぱい3段抜きの見出しが躍った。テレビは臨時ニュースのテロップを流し、あたかも第3次世界大戦が勃発したかのような騒ぎになった。そのとき私は21歳、北大医学部に在学していた。驚きとともに最大の関心を持ってこのビッグ・ニュースに接したが、歴史に残るであろう大手術が欧米の一流病院ではなくて、どう見ても医療レベルの点で見劣りする南アフリカであったことが意外だった。

人類初の快挙とたたえられた心臓手術の顛末は以下のようなものだった。
交通事故で脳死状態となった24歳の黒人女性の心臓が55歳の白人の男性に移植された。手術は成功するも、術後18日目に肺炎で死亡。世界を驚愕させたにはあつかなかつたが、医学史上、それまでの死生観を変えるような一大エポックとなった。
検索によると、クリスチャン・バーナード(1922~2001)は1956年、アメリカのミネソタ大学に留学して当時心臓外科の先駆的存在だったリレヘイの下で研鑽を積み、1983年に医師を引退するまでに49例の心臓移植手術を行っている。(余談ながら、日本初の心臓移植を行った札幌医大の和田寿郎も相前後してリレヘイのもとで指導を受けている。)

多くのジャーナリストが南アに詰めかけ、微に入り細にわたって報道が繰り広げられる一方、周辺に派生する記事も少なからず新聞を賑わせた。そんな中で朝日新聞に掲載された一本のエッセイ風の記事が私の興味を引いた。

心臓移植の報に接してケープタウンの町を訪れた際、偶然見かけた日時計に衝撃を受けた。文字盤に刻まれた数字の配列が反時計回りだったのだ。このときまさに、地球上の文明は北半球から栄えた、との思いが彷彿として心に浮かんできた。古代の4大文明はすべて北半球に興り、方位と時間に関する天文学は赤道の北側で発達した。いまや時計の数字が右回りなのは空気のように当然である。だが、南半球では、太陽光は北から射して南側に日陰を作り、日時計の針の影は右から左へと回る。もしも地球の文明が南半球に興隆していたなら、これを受けて時計の針は左回りになっていたはずである。

いま、時計回りという表現は、右回り、の代名詞になっているが、南半球に立ち位置を移せば、とどのつまりが、左回り、と同義語になっていたかもしれない、というのだ。

その当時は、今日とは比べ物にならないくらい交通アクセスが悪かった。新聞記者といえども喜望峰に連なるアフリカの果てまで出かけて行くなどそんなに容易だったとは思えない。心臓移植の行われた12月3日、南アは初夏である。日差しの弱い冬の日本から(おそらくは初めて)やってきて、いきなり季節が逆転した。日照時間は1年で最も長く、冬至まじかの東京とは真逆である。気温も高く、強い日差しの下で植生は異なり、風

景そのものが異質だった。こんな中で出会った反時計回りの日時計は彼の心のエキゾチズムにとどめを刺したのではあるまいか。文の最後に記者氏は、「反時計回りの時計を作った南アの土産物にしてはいいかなものだろう」と述べている。

心臓移植手術は、北半球の文明に抗うかのようになり、南半球はアフリカ大陸の最南端の地に始まった。爾来半世紀、免疫抑制剤の登場を得て移植医療は多くの分野で飛躍的な進歩を遂げ、心臓移植の成績も、5年生存率70%、10年生存率50%の今日となった。

ところでその後、「反時計回りの時計」はどうなっただろう。海外旅行もすっかりポピュラーになったが、南アの特産品として売り出されている気配はない。記者氏のアイデアは生かされなかったようである。



南アフリカの国花 キングプロテア

編集後記

大相撲春場所まで琴奨菊が10年ぶりの日本人優勝をとり、またガソリンの小売価格が17年ぶりに100円を割ってニュースとなりました。この冬西日本では強い低気圧に見舞われ大雪となり、なんと奄美大島では、115年ぶりに雪が降り、島の住民が驚きに沸きました。そんな新

年のスタートでしたが、「医療法人はまなす」も22年目に入り、今年は石狩のはまなす医院の大幅増築が行われます。これからも地域に根差した「はまなす」をよろしく願います。

(T.S)